

9.4 調査結果

表 31 G 事業体 R 浄水場 調査結果(1月度)

調査箇所	採取箇所	調査項目					
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/L)	フタル酸ジ-n-フチル (μg/L)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	
水質	着水井(接合井)	0.08	<0.05	3	1.5	1.3	
	ろ過池	着水井(接合井)入口 (返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)	<0.05	<0.05	<1	1.3	1.2
		ろ過池流入部	<0.05	<0.05	<1	0.93	0.91
		配水池出口	0.28	<0.05	<1	1.0	1.0
		着水井流入前	0.06	<0.05	7	1.9	1.1
排水	ろ過池洗浄排水						

調査箇所	採取箇所	調査項目												
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/kg)	フタル酸ジ-n-フチル (μg/kg)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	含水率 (%)	強熱減量 (%)	鉄 (mg/kg)	マンガン (mg/kg)	アルミニウム (mg/kg)	ヒ素 (mg/kg)	カルシウム (mg/kg)	マグネシウム (mg/kg)
汚泥	沈殿池 沈殿池汚泥出口(上澄水は捨てない状態で)	そのまま	----	----	3500	300	4.0	99.6	----	----	----	----	----	----
		遠心分離後の上澄水	<0.05*	0.39*	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----
		遠心分離後の固形物	4900	<25	----	----	----	----	35.5	730	190000	39	3700	2400
浮上物質	浮上物質(スカム)発生地点	そのまま	----	----	18000	1000	16	97.2	----	----	----	----	----	
		遠心分離後の固形物	11000	500	----	----	----	----	33.4	700	200000	39	4700	2300

フタル酸類、金属類は乾燥重量換算

※遠心分離後の上澄水のフタル酸類の単位はμg/L

図 10 G 事業体 R 浄水場 調査結果グラフ(1 月度)

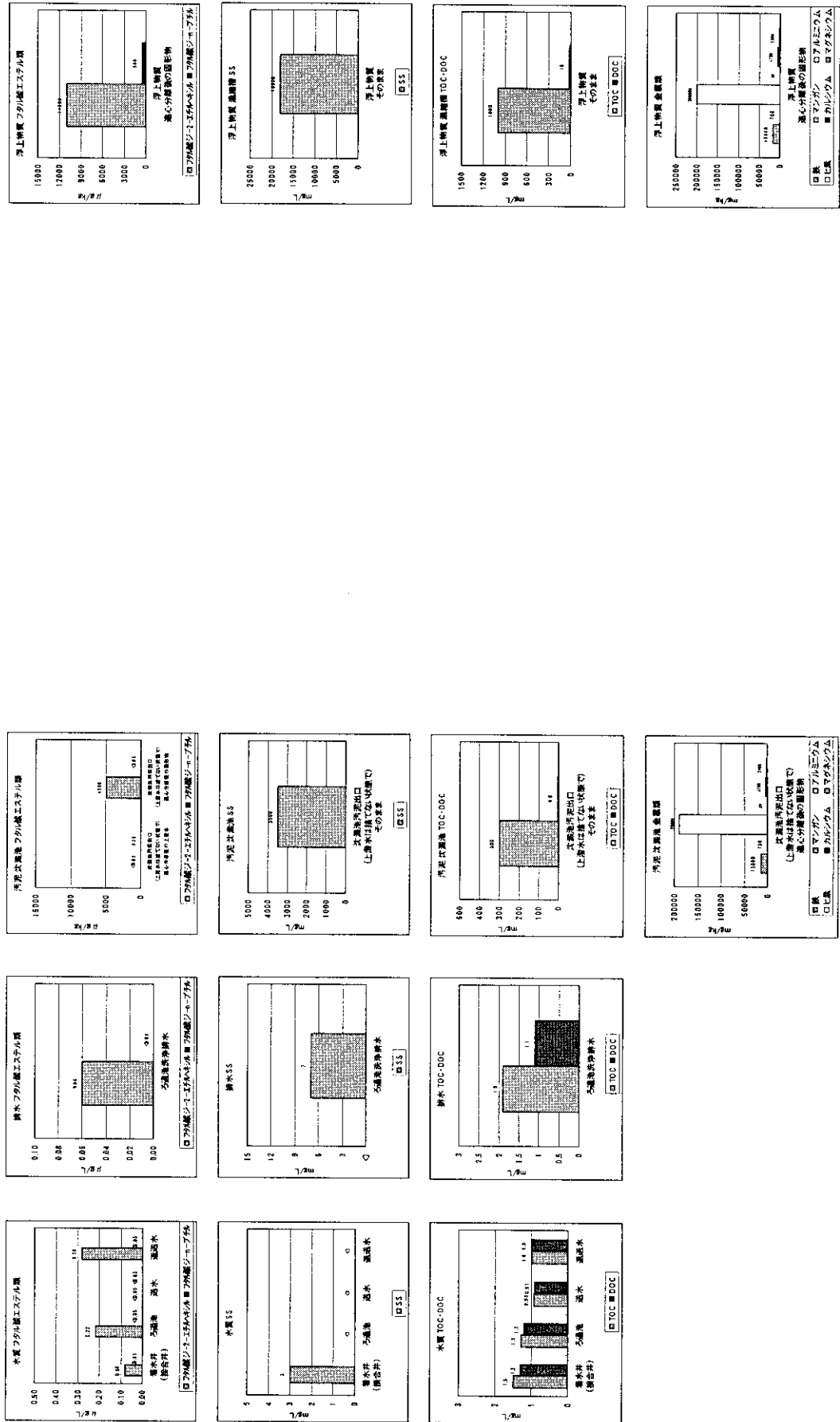


表 32 G 事業体 R 浄水場 調査結果(2 月度)

調査箇所	採取箇所	調査項目					
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/L)	フタル酸ジ-n-アチル (μg/L)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	DOC (mg/L)
水質	着水井(接合井)入口 (送送水と程しる前あるいは、送送水が流入しない時間帯)	0.30	<0.05	4	2.0	1.5	
	ろ過池	0.07	<0.05	<1	1.1	0.98	
	送水	<0.05	<0.05	<1	0.98	0.96	
	返送水	0.71	<0.05	<1	1.1	1.0	
排水	ろ過池洗淨排水	0.11	<0.05	2.5	3.8	1.0	

調査箇所	採取箇所	調査項目												
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/kg)	フタル酸ジ-n-アチル (μg/kg)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	含水率 (%)	強熱減量 (%)	鉄 (mg/kg)	マンガン (mg/kg)	アルミニウム (mg/kg)	ヒ素 (mg/kg)	カルシウム (mg/kg)	マグネシウム (mg/kg)
汚泥	沈殿池	そのまま	---	---	4700	610	21	---	---	---	---	---	---	---
		遠心分離後の上澄水	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		遠心分離後の固形物	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	沈殿池汚泥出口(上澄水は捨てない状態で)	そのまま	---	---	5000	660	14	99.4	---	---	---	---	---	---
		遠心分離後の上澄水	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
浮上物質	浮上物質(スカム)発生地点	遠心分離後の上澄水	6000	<25	---	---	---	34.0	17000	1000	140000	26	3400	3100
		遠心分離後の固形物	---	---	25000	3400	27	96.5	---	---	---	---	---	---
		そのまま	6000	140	---	---	---	34.3	17000	850	150000	23	3300	2500

フタル酸類、金属類は乾燥重量換算

図 11 G 事業体 R 浄水場 調査結果グラフ(2月度)

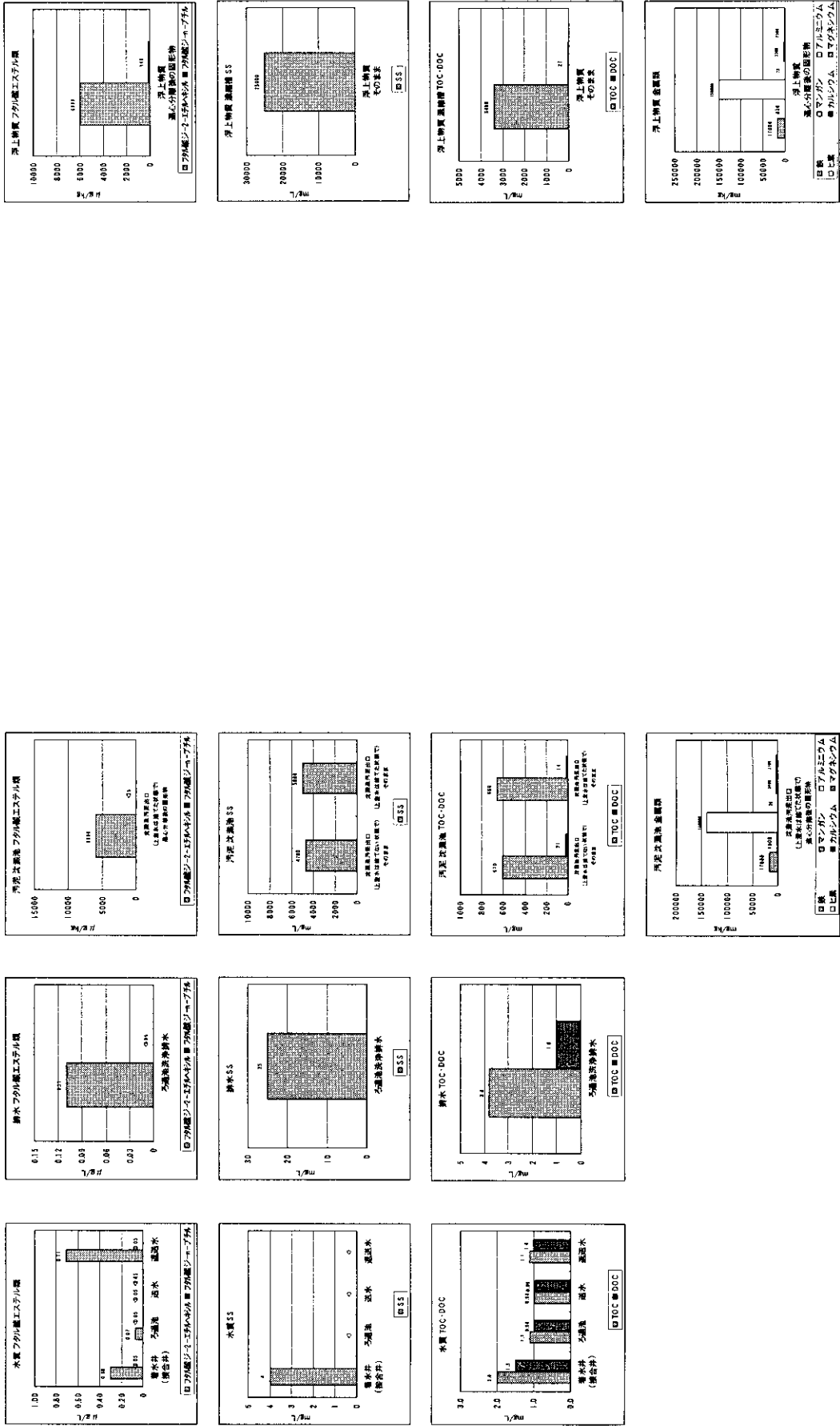


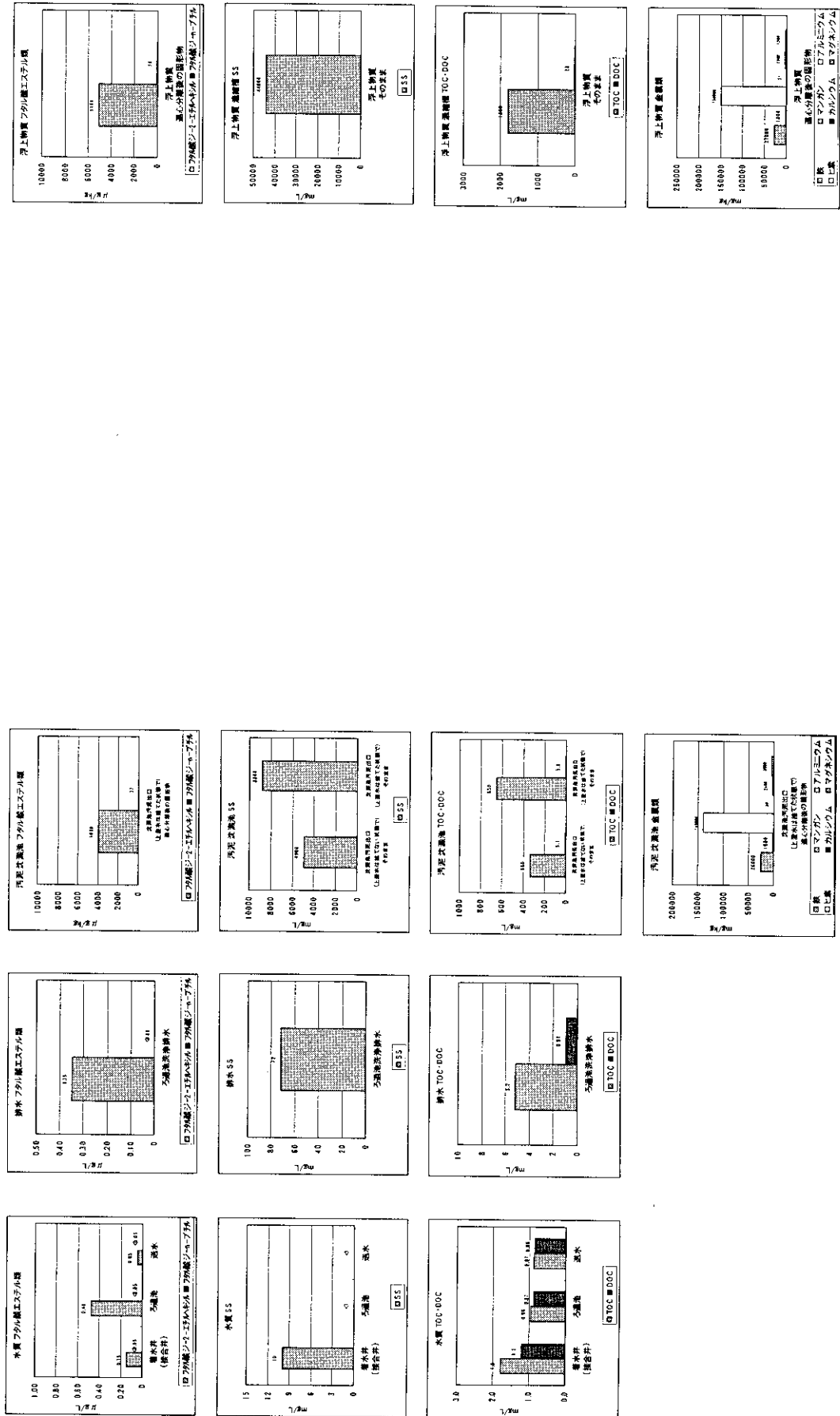
表 33 G 事業体 R 浄水場 調査結果(3 月度)

調査箇所	採取箇所	調査項目				
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/L)	フタル酸ジ-n-ブチル (μg/L)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)
水質	着水井(接合井) (返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)	0.15	<0.05	10	1.8	1.2
	ろ過池	0.48	<0.05	<1	0.96	0.87
	送水	0.05	<0.05	<1	0.87	0.86
排水	ろ過池流浄排水	0.35	<0.05	72	5.2	0.92

調査箇所	採取箇所	調査項目												
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/kg)	フタル酸ジ-n-ブチル (μg/kg)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	含水率 (%)	強熱減量 (%)	鉄 (mg/kg)	マンガン (mg/kg)	アルミニウム (mg/kg)	ヒ素 (mg/kg)	カルシウム (mg/kg)	マグネシウム (mg/kg)
汚泥	沈殿池汚泥出口(上澄水は捨てない状態で)	そのまま	4900	330	5.1	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	遠心分離後の上澄水	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	遠心分離後の固形物	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	沈殿池汚泥出口(上澄水は捨てた状態で)	そのまま	8800	650	5.9	99.0	---	---	---	---	---	---	---	
浮上物質	浮上物質(スカム)発生地	4000	37	---	---	---	---	28.4	26000	1600	140000	30	2400	3900
	遠心分離後の固形物	5100	78	44000	1800	23	94.9	---	---	---	---	---	---	
	遠心分離後の固形物	---	---	---	---	---	---	28.4	27000	1800	150000	27	2900	4300

フタル酸類、金属類は乾燥重量換算

図 12 G 事業体 R 浄水場 調査結果グラフ(3 月度)



9.5 考察

9.5.1 1 月度調査

(1) 水質

フタル酸類の浄水処理過程の挙動を表 30 に示した着水井(接水井)入口(返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)から返送水(着水井流入前)までの 4 地点で調査を実施した。その結果を表 31 および図 10 に示す。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの検出は 4 地点中 3 地点で、検出割合は 75% であり、その濃度は着水井(接水井)入口(返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)で $0.08\mu\text{ g/L}$ 、ろ過池(ろ過池流入部)で $0.22\mu\text{ g/L}$ 、返送水(着水井流入前)で $0.28\mu\text{ g/L}$ であった。一方、フタル酸ジ-n-ブチルは調査 4 地点ですべて定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)であった。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルとフタル酸ジ-n-ブチル両物質とも検出された地点は無く、送水(配水池出口)では両物質とも定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)であった。

山ノ内浄水場の水質の特徴として、フタル酸エステル類の検出濃度と SS 量との間に明確な相関は認められない点があげられる。

(2) 排水

ろ過池洗浄排水(洗浄排水出口)のフタル酸エステル類の調査結果を表 31 および図 10 に示す。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは $0.06\mu\text{ g/L}$ 、フタル酸ジ-n-ブチルは定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)であった。

水質調査と比較した場合、SS が 7 mg/L と比較的高濃度に検出しているが、フタル酸エステル類の検出割合が低い結果となり、フタル酸エステル類の検出濃度と SS 量との間に明確な相関は認められなかった。

(3) 汚泥

沈澱池(沈澱池汚泥出口)のフタル酸エステル類および金属類の調査結果を表 31 および図 10 に示す。

沈澱池(沈澱池汚泥出口)の汚泥試料は遠心分離を行い、上澄水と固形物に分け、上澄水と固形物中のフタル酸エステル類を分析した。分析結果は乾燥重量あたりで濃度を算出した。(遠心分離後の上澄水を除く)

沈澱池(沈澱池汚泥出口)の遠心分離後の上澄水のフタル酸エステル類の結果は、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)、フタル酸ジ-n-ブチルは $0.39\mu\text{ g/L}$ であった。また、同地点の遠心分離後の固形物中の濃度はフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが $4900\mu\text{ g/kg}$ 、フタル酸ジ-n-ブチルは定量下限値以下($25\mu\text{ g/kg}$ 以下)であった。フタル酸エステル類は固形物中に大部分が存在することがわかった。

一方、金属類の検出状況はアルミニウムが 190000 mg/kg と最も高く、次いで鉄が 15000 mg/kg であった。また、強熱減量は 35.5% であり、固形物の約 35% が有機物で構成されていることが考えられる。

(4) 浮上物質

浮上物質(スカム)発生地点の浮上物質のフタル酸エステル類および金属類の調査結果を表 31 および図 10に示す。

浮上物質は遠心分離を行い、上澄水と固形物に分け、固形物中のフタル酸エステル類を分析した。分析結果は乾燥重量あたりで濃度を算出した。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは $11000\mu\text{ g/kg}$ 、フタル酸ジ-n-ブチルは $500\mu\text{ g/kg}$ であった。沈澱池(沈澱池汚泥出口)の汚泥よりも高濃度傾向であった。

一方、金属類の検出状況はアルミニウムが 200000mg/kg と最も高く、次いで鉄が 16000 mg/kg であった。また、強熱減量は 33.4% であり、固形物の約 35% が有機物で構成されていることが考えられる。

金属類および強熱減量は沈澱池(沈澱池汚泥出口)の汚泥とほぼ同じであった。

9.5.2 2 月度調査

(1) 水質

フタル酸類の浄水処理過程の挙動を表 30に示した着水井(接水井)入口(返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)から返送水(着水井流入前)までの4地点で調査を実施した。その結果を表 32および図 11に示す。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの検出は4地点中3地点で、検出割合は 75% であり、その濃度は着水井(接水井)入口(返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)で $0.30\mu\text{ g/L}$ 、ろ過池(ろ過池流入部)で $0.07\mu\text{ g/L}$ 、返送水(着水井流入前)で $0.71\mu\text{ g/L}$ であった。一方フタル酸ジ-n-ブチルは調査4地点ですべて定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)であった。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルとフタル酸ジ-n-ブチル両物質とも検出された地点は無く、送水(配水池出口)では両物質とも定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)であった。

山ノ内浄水場の水質の特徴として、フタル酸エステル類の検出濃度とSS量との間に明確な相関は認められない点があげられる。

(2) 排水

ろ過池洗浄排水(洗浄排水出口)のフタル酸エステル類の調査結果を表 32および図 11に示す。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは $0.11\mu\text{ g/L}$ 、フタル酸ジ-n-ブチルは定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)であった。

水質調査と比較した場合、SSが 25mg/L と高濃度に検出している割には、フタル酸エステル類の検出割合が低い結果となり、フタル酸エステル類の検出濃度とSS量との間に明確な相関は認められなかった。

(3) 汚泥

沈澱池(沈澱池汚泥出口)のフタル酸エステル類および金属類の調査結果を表 32および図 11

に示す。

沈澱池(沈澱池汚泥出口)の汚泥試料は遠心分離を行い、上澄水と固形物に分け、固形物中のフタル酸エステル類を分析した。分析結果は乾燥重量あたりで濃度を算出した。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは $6000\mu\text{ g/kg}$ であったが、フタル酸ジ-n-ブチルは定量下限値以下($25\mu\text{ g/kg}$ 以下)であった。

一方、金属類の検出状況はアルミニウムが 140000mg/kg と最も高く、次いで鉄が 17000 mg/kg であった。また、強熱減量は 34.0% であり、固形物の約 34% が有機物で構成されていることが考えられる。

(4) 浮上物質

浮上物質(スカム)発生地点の浮上物質のフタル酸エステル類および金属類の調査結果を表 32 および図 11 に示す。

浮上物質は遠心分離を行い、上澄水と固形物に分け、固形物中のフタル酸エステル類を分析した。分析結果は乾燥重量あたりで濃度を算出した。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは $6000\mu\text{ g/kg}$ であり、フタル酸ジ-n-ブチルは $140\mu\text{ g/kg}$ であった。

一方、金属類の検出状況はアルミニウムが 150000mg/kg と最も高く、次いで鉄が 17000 mg/kg であった。また、強熱減量は 34.3% であり、固形物の約 35% が有機物で構成されていることが考えられる。

浮上物質(スカム)発生地点の浮上物質の分析結果は沈澱池(沈澱池汚泥出口)の汚泥とほぼ同じであった。

9.5.3 3 月度調査

(1) 水質

フタル酸類の浄水処理過程の挙動を表 30 に示した着水井(接合井)入口(返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)から送水(配水池出口)までの 3 地点で調査を実施した。その結果を表 33 および図 12 に示す。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの検出は調査 3 地点すべてで検出しており、その濃度は着水井(接合井)入口(返送水と混じる前あるいは、返送水が流入しない時間帯)で $0.15\mu\text{ g/L}$ 、ろ過池(ろ過池流入部)で $0.48\mu\text{ g/L}$ 、送水(配水池出口)で $0.05\mu\text{ g/L}$ であった。一方、フタル酸ジ-n-ブチルは調査 3 地点ですべて定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$ 以下)であった。

山ノ内浄水場の水質の特徴として、フタル酸エステル類の検出濃度と SS 量との間に明確な相関は認められない点があげられる。

(2) 排水

ろ過池洗浄排水(洗浄排水出口)のフタル酸エステル類の調査結果を表 33 および図 12 に示す。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは $0.35\mu\text{ g/L}$ 、フタル酸ジ-n-ブチルは定量下限値以下($0.05\mu\text{ g/L}$

以下)であった。

水質調査と比較した場合、SS が 72mg/L と高濃度に検出している割には、フタル酸エステル類の検出割合が低い結果となり、フタル酸エステル類の検出濃度とSS量との間に明確な相関は認められなかった。

(3) 汚泥

沈澱池(沈澱池汚泥出口)のフタル酸エステル類および金属類の調査結果を表 33および図 12に示す。

沈澱池(沈澱池汚泥出口)の汚泥試料は遠心分離を行い、上澄水と固形物に分け、固形物中のフタル酸エステル類を分析した。分析結果は乾燥重量あたりで濃度を算出した。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは 4000 μ g/kg であり、フタル酸ジ-n-ブチルは 37 μ g/kg であった。

一方、金属類の検出状況はアルミニウムが 140000mg/kg と最も高く、次いで鉄が 26000 mg/kg であった。また、強熱減量は 28.4%であり、固形物の約 28%が有機物で構成されていることが考えられる。

(4) 浮上物質

浮上物質(スカム)発生地点の浮上物質のフタル酸エステル類の調査結果を表 33および図 12に示す。

浮上物質は遠心分離を行い、上澄水と固形物に分け、固形物中のフタル酸エステル類を分析した。分析結果は乾燥重量あたりで濃度を算出した。

フタル酸ジ-2-エチルヘキシルは 5100 μ g/kg であり、フタル酸ジ-n-ブチルは 78 μ g/kg であった。

一方、金属類の検出状況はアルミニウムが 150000mg/kg と最も高く、次いで鉄が 27000 mg/kg であった。また、強熱減量は 28.4%であり、固形物の約 28%が有機物で構成されていることが考えられる。

浮上物質(スカム)発生地点の浮上物質の分析結果は沈澱池(沈澱池汚泥出口)の汚泥とほぼ同じであった。

10. I 事業体 T 浄水場
10.1 浄水場フロー

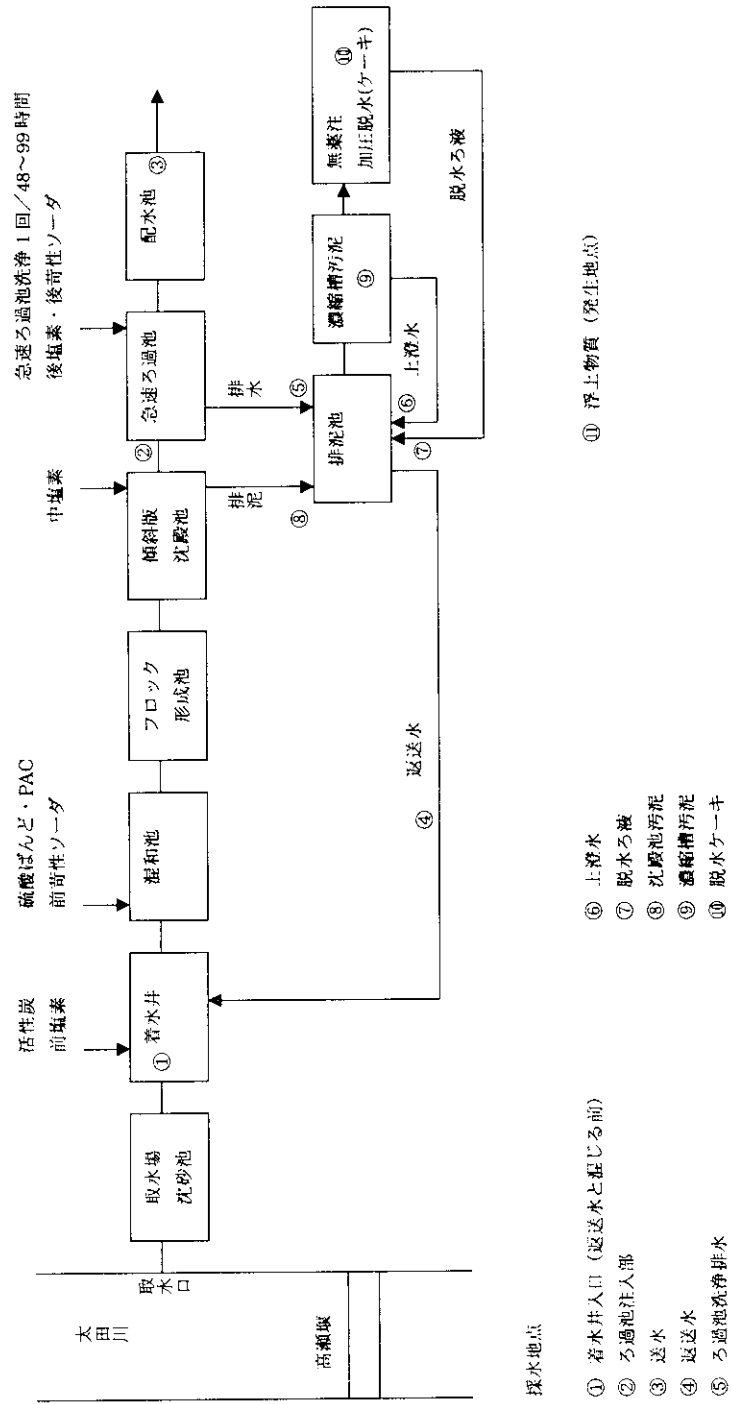


図 13 I 事業体 T 浄水場フロー図

10.2 一般項目測定結果

表 34 I 事業体 T 浄水場 一般項目調査結果(1 月度)

事業体名	I	浄水場名	T
採取日	平成16年1月28日		

	前々日 (平成16年1月26日)	前日 (平成16年1月27日)	当日 (平成16年1月28日)
天候	晴れ	曇り	晴れ
降水量 (mm)	0	0	0
気温 (℃)	2.4(1.5)	1.1(1.4)	0.6(1.4)

気温は10時頃を示し、()内は1日の平均値を示す。

	着水井	ろ過池	送水	返送水
水温 (℃)	4.3	4.6	5.5	5.6
pH値	7.1	6.9	7.1	7.0
色度 (度)	4	<1	<1	2
濁度 (度)	1.3	1.1	<0.1	14
残留塩素 (mg/L)	-	0.9	0.7	痕跡
KMnO ₄ 消費量 (mg/L)	2.4	1.6	1.1	12.6
塩素イオン (mg/L)	10.9	11.8	12.3	12.9
電気伝導率 (μ S/cm)	88	97	99	161
TOC (mg/L)	-	-	-	-

表 35 I 事業体 T 浄水場 一般項目調査結果(2 月度)

事業体名	I	浄水場名	T
採取日	平成16年2月26日		

	前々日 (平成16年2月24日)	前日 (平成16年2月25日)	当日 (平成16年2月26日)
天候	晴れ	曇り	晴れ
降水量 (mm)	0	0	0
気温 (℃)	4.9(6.1)	8.3(10.0)	10.2(7.9)

気温は10時頃を示し、()内は1日の平均値を示す。

	着水井	ろ過池	送水	返送水
水温 (℃)	7.7	8.2	8.2	8.7
pH値	7.0	6.8	7.0	7.0
色度 (度)	5	<1	<1	3
濁度 (度)	2.7	1.3	<0.1	19
残留塩素 (mg/L)	—	0.9	0.6	痕跡
KMnO ₄ 消費量 (mg/L)	3.2	1.9	1.3	11.4
塩素イオン (mg/L)	8.7	9.7	11.9	14.3
電気伝導率 (μ S/cm)	64	72	78	83
TOC (mg/L)	—	—	—	—

表 36 I 事業体 T 浄水場 一般項目調査結果(3 月度)

事業体名	I	浄水場名	T
採取日	平成16年3月24日		

	前々日 (平成16年3月22日)	前日 (平成16年3月23日)	当日 (平成16年3月24日)
天候	雨	晴れ	晴れ
降水量 (mm)	27	0	0
気温 (℃)	4.1(5.5)	9.4(8.9)	12.7(12.7)

気温は10時頃を示し、()内は1日の平均値を示す。

	着水井	ろ過池	送水	返送水
水温 (℃)	8.9	8.9	9.1	8.7
pH値	7.2	6.8	7.1	7.0
色度 (度)	5	3	<1	3
濁度 (度)	1.7	1	<0.1	19
残留塩素 (mg/L)		1	0.6	痕跡
KMnO ₄ 消費量 (mg/L)	3.8	1.3	1.1	11.4
塩素イオン (mg/L)	7.7	9.1	10.0	14.3
電気伝導率 (μ S/cm)	72	75	78	83
TOC (mg/L)	—	—	—	—

10.3 調査地点及び調査日

表 371 事業体 T 浄水場 採水地点及び調査日

調査地点		測定箇所	調査月		
			1月度	2月度	3月度
水質	着水井	着水井入口（返送水と混じる前）	1月28日	2月26日	3月24日
	ろ過池	ろ過池流入部	1月28日	2月26日	3月24日
	送水	配水池出口	1月28日	2月26日	3月24日
	返送水	着水井流入前	1月28日	2月26日	3月24日
排水	ろ過池洗浄排水	洗浄排水出口	1月28日	2月26日	3月24日
	脱水ろ液	排泥池流入前	1月28日	2月26日	3月24日
	濃縮槽からの上澄水	排泥池流入前	1月28日	2月26日	3月24日
汚泥	沈澱池	沈澱池汚泥出口 (上澄水は捨てた状態で)	1月28日	2月26日	3月24日
	沈澱池	沈澱池汚泥出口 (上澄水は捨てない状態で)	1月28日	2月26日	3月24日
	濃縮槽	濃縮槽汚泥 (上澄水を捨てた状態で)	1月28日	2月26日	3月24日
	脱水ケーキ		1月28日	2月26日	3月24日
浮上物質		浮上物質(スカム)発生地点	1月28日	2月26日	3月24日
		配水池	1月28日	2月26日	3月24日

10.4 調査結果

表 38 I 事業体 T 浄水場 調査結果(1 月度)

調査箇所	採取箇所	調査項目					
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/L)	フタル酸ジ-n-ブチル (μg/L)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	DOC (mg/L)
水質	着水井	0.10	<0.05	1	0.78	0.62	
	ろ過池	0.05	<0.05	2	0.74	0.56	
	送水	<0.05	<0.05	<1	0.48	0.46	
	返送水	0.40	<0.05	33	3.6	1.3	
排水	ろ過池洗浄排水	2.0	0.06	230	17	0.86	
	脱ろろ液	0.31	0.14	<1	8.2	7.8	
	濃縮槽からの上澄水	0.06	<0.05	1	4.0	3.4	

調査箇所	採取箇所	調査項目											
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/kg)	フタル酸ジ-n-ブチル (μg/kg)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	含水率 (%)	強熱減量 (%)	鉄 (mg/kg)	マンガン (mg/kg)	アルミニウム (mg/kg)	ヒ素 (mg/kg)	カルシウム (mg/kg)
汚泥	沈殿池	そのまま	8700	580	6.7	99.1	---	---	---	---	---	---	---
	濃縮槽	沈殿池汚泥出口(上澄水は捨てない状態で)	0.2*	0.13*	---	---	---	---	---	---	---	---	---
		濃縮槽汚泥(上澄水を捨てた状態で)	11000	100	---	---	---	34.4	17000	2200	130000	74	2200
	浮上物質	脱水ゲ-キ	4500	66	20000	1500	7.7	97.9	---	---	---	---	---
浮上物質No.1		1400	89	---	---	---	---	20000	3000	130000	95	2400	1700
浮上物質	ポンプ排水	浮上物質(スカム)発生地点	---	---	4500	270	3.8	99.3	---	---	---	---	---
		配水池	27000	130	---	---	---	---	17000	1500	150000	96	2800
	配水池	1000000	580	370	82	10	99.9	---	---	---	---	---	---
		そのまま	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

フタル酸類、金属類は乾燥重量換算
 ※遠心分離後の上澄水の単位はμg/L

図 14 I 事業体 T 浄水場 調査結果(1 月度)

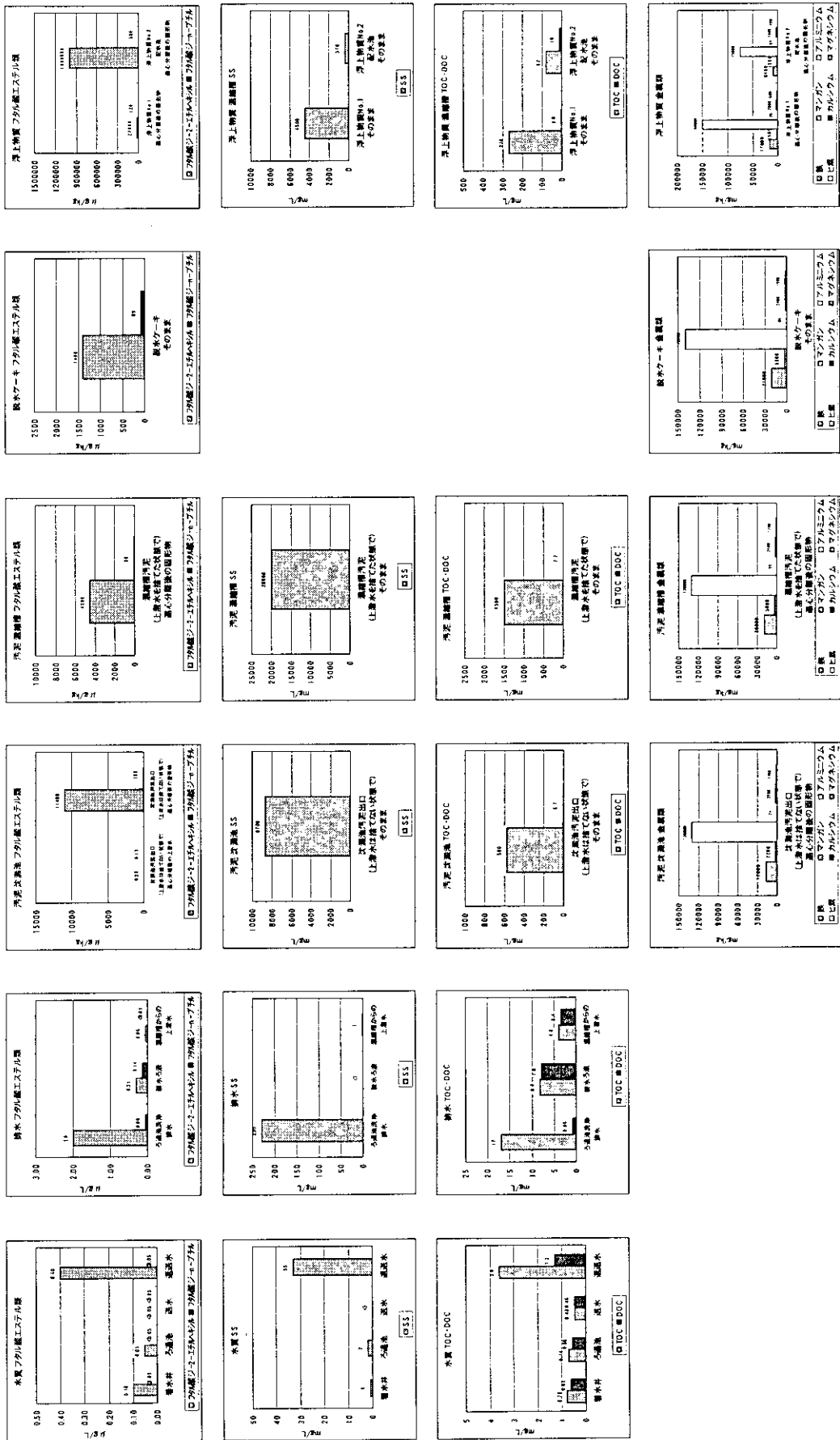


表 39 I 事業体 T 浄水場 調査結果(2 月度)

調査箇所	採取箇所	調査項目				
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/L)	フタル酸ジ-n-ブチル (μg/L)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)
水質	着水井	<0.05	<0.05	4	0.90	0.60
	ろ過池	<0.05	<0.05	3	0.80	0.38
	送水	<0.05	<0.05	<1	0.42	0.38
	返送水	0.36	<0.05	45	4.0	1.2
排水	ろ過池洗浄排水	1.2	<0.05	310	21	0.87
	脱水ろ液	0.25	0.18	5	8.6	8.3
	濃縮槽からの上澄水	0.09	<0.05	7	4.1	3.1

調査箇所	採取箇所	調査項目													
		フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (μg/kg)	フタル酸ジ-n-ブチル (μg/kg)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	含水率 (%)	強熱減量 (%)	鉄 (mg/kg)	マンガン (mg/kg)	アルミニウム (mg/kg)	ヒ素 (mg/kg)	カルシウム (mg/kg)	マグネシウム (mg/kg)	
汚泥	沈殿池	沈殿池汚泥出口(上澄水は捨てない状態で)	----	----	33000	2800	49	95.2	----	----	----	----	----	----	
		沈殿池汚泥出口(上澄水は捨てた状態で)	----	----	44000	3800	47	95.3	----	----	----	----	----	----	
	濃縮槽	濃縮槽汚泥(上澄水を捨てた状態で)	9100	100	----	1800	13	97.4	28.7	25000	2400	110000	50	2500	2700
		脱水ケ-キ	9900	120	----	----	----	----	28.2	25000	3200	100000	54	3500	3300
浮上物質	浮上物質No.1	浮上物質(スカム)発生地点	10000	110	----	100	0.91	64.5	29.1	27000	3500	100000	54	3500	3300
		配水池	18000	<25	1500	110	9.4	99.8	27.5	30000	1400	110000	47	3100	3500
	ポンプ排水	1200000	390	510	110	9.4	99.9	73.9	10000	940	71000	56	1800	470	

フタル酸類、金属類は乾燥重量換算

図 15 I 事業体 T 浄水場 調査結果(2 月度)

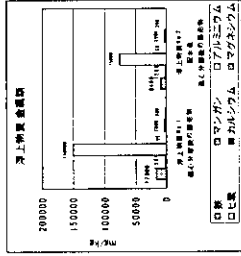
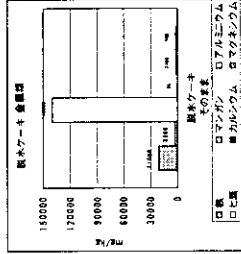
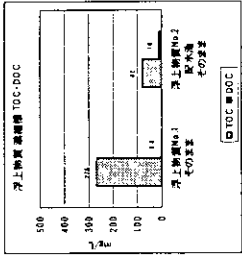
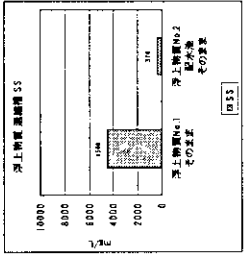
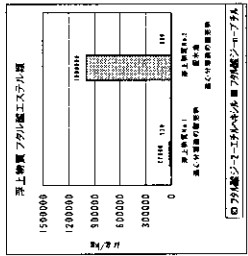
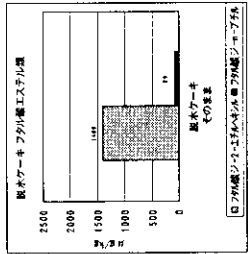
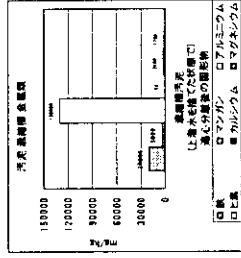
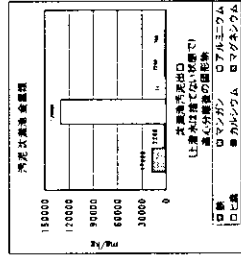
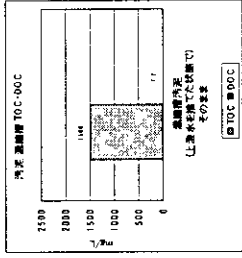
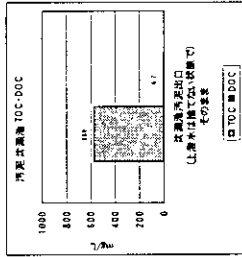
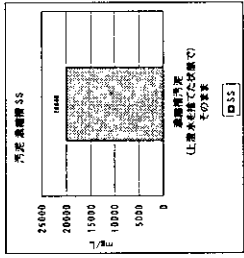
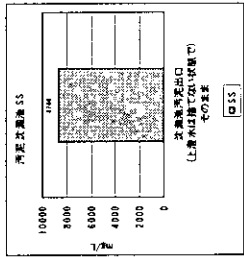
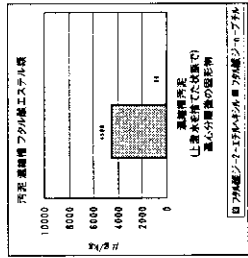
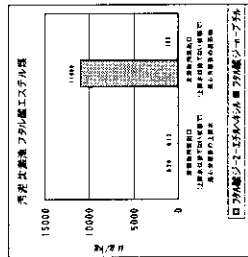
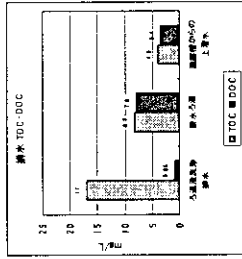
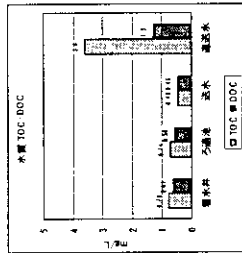
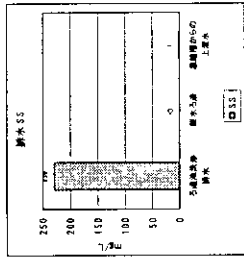
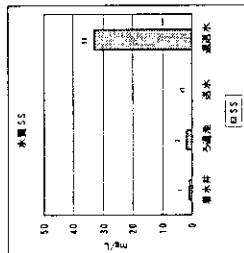
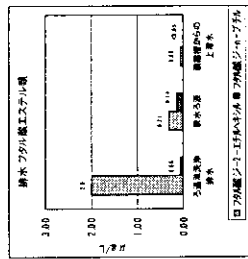
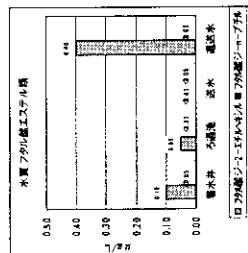


表 40 I 事業体 T 浄水場 調査結果(3 月度)

調査箇所	採取箇所	調査項目				
		フタル酸ジ-2- エチルヘキシル (μ g/L)	フタル酸ジ-n- アチル (μ g/L)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)
水質	着水井	0.07	<0.05	3	1.0	0.80
	ろ過池	<0.05	<0.05	1	0.75	0.51
	送水	<0.05	<0.05	<1	0.61	0.60
	返送水	0.39	<0.05	35	4.4	1.3
排水	ろ過池洗淨排水	2.2	<0.05	240	16	0.96
	脱水ろ液	1.2	0.07	<1	18	18
	濃縮槽からの上澄水	0.10	<0.05	<1	2.7	2.2

調査箇所	採取箇所	調査項目											
		フタル酸ジ-2- エチルヘキシル (μ g/kg)	フタル酸ジ-n- アチル (μ g/kg)	SS (mg/L)	TOC (mg/L)	DOC (mg/L)	含水率 (%)	強熱減 量 (%)	鉄 (mg/kg)	マンガン (mg/kg)	アルミニ ウム (mg/kg)	ヒ素 (mg/kg)	カルシウ ム (mg/kg)
汚泥	沈殿池汚泥出口(上澄水 は捨てない状態で)	---	---	11000	900	4.9	98.8	---	---	---	---	---	---
	沈殿池汚泥出口(上澄水 は捨てた状態で)	---	---	9900	430	3.1	98.9	---	---	---	---	---	---
	濃縮槽汚泥(上澄水を捨 てた状態で)	10000	73	---	---	---	---	30.0	1400	100000	48	2400	3400
		---	---	28000	1600	18	96.9	---	---	---	---	---	---
浮上物質	脱水ケーキ	11000	83	---	---	---	65.4	30.3	2300	110000	61	2800	3400
	浮上物質No.1	24000	69	---	160	2.5	99.6	---	---	---	---	---	---
	浮上物質No.2	13 μ g/L*	0.13 μ g/L*	13	7.7	2.4	---	---	---	---	---	---	---
	ポンプ排水	---	---	<1	---	---	---	---	---	---	---	---	---

フタル酸類、金属類は乾燥重量換算
 ※浮上物質No.2は、水質試料として測定